

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01
施設名	あらかわりサイクルセンター		
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号		
部課名	環境清掃部清掃リサイクル課		
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)
			国・都 区債 一般財源
建築	平成28年10月10日	862,058,700円	862,058,700円
増改築①			
増改築②			
併設施設	-		
竣工年月日	平成28年9月16日		常勤・非常勤 4 18
供用開始年月日		職員数	4 18
構造	鉄骨造	階層	2階
面積	敷地面積	1999.3㎡	
	延床面積	1577.8㎡	
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。		
関連部署			
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項		
駐車場の状況	あり	エレベーター	● だれでもトイレ
駐輪場の状況	あり	対応状況	● 点字ブロック ○ スロープ



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	(1)区内から回収した資源(びん、缶、トレイ、ペットボトル)の中間処理 (2)区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3)リサイクル資源を使った工房・教室の実施					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間	8:30~17:15				
	休日	日曜日、年末年始				
施設基本データ等	団体来場者数(工房参加者、団体者数含む)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		-	-	1,201	3,192	3,300
	開館日数(28年10月10日開設)	-	-	146	310	308
	工房・教室回数	-	-	58	145	107
	工房・教室参加者数	-	-	189	557	560
	工房・教室参加者申込率	-	-	38	50	70
	施設見学実施小学校数	-	-	6	24	24
	拠点資源回収量(t)	-	-	4	8	10
に指定する費用						
備考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施した。					

III 財務諸表

		勘定科目			勘定科目			(単位:千円)		
		H28年度	H29年度	差額			H28年度	H29年度	差額	
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	5,611	22,990	17,379	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	12,081	101,189	89,108		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	154	83	▲ 71		都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	54	1,184	1,130		使用料及び手数料	432	864	432
		減価償却費	0	36,468	36,468		その他	31	218	187
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	463	1,082	619
		賞与・退職給与引当金繰入額	303	1,238	935		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 17,740	▲ 162,070	▲ 144,330
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	▲ 390	▲ 390
		行政費用合計(b)	18,203	163,152	144,949		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 17,740	▲ 162,460	▲ 144,720
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 17,740	▲ 162,460	▲ 144,720	
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	303	1,238	935	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	有形固定資産	834,427	797,959	▲ 36,468		賞与引当金	303	1,238	935	
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
		建物	767,791	767,791	0	固定負債	266,758	449,774	183,016	
		建物減価償却累計額	0	▲ 34,502	▲ 34,502		特別区債	262,000	436,000	174,000
		工作物等	66,636	66,636	0		退職給与引当金	4,758	13,774	9,016
		工作物等減価償却累計額	0	▲ 1,966	▲ 1,966		その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	267,061	451,012	183,951	
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	567,366	346,947	▲ 220,419	
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	567,366	346,947	▲ 220,419	
	資産の部合計	834,427	797,959	▲ 36,468		負債及び正味財産の部合計	834,427	797,959	▲ 36,468	
備考	物件費は、主に中間処理に係る委託料、建物の維持管理に係る委託料や光熱水費等が計上されている。補助費は、工房・教室の講師謝礼等である。28年度は10月に開設して10~3月の6月間、29年度は1年間分であるためコスト等が増加した。									

	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	0.0	4.4	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	0.0	0.0	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	44,352	103,405	
	人にかかるコストの割合(%)	-	-	9	14.8	
備考	28年度は10月に開設して10~3月の6月間、29年度は1年間分であるためコスト等が増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: 整備計画)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	団体来場者数	目標値 - 実績値 -	-	-	1,760 1,195	2,800 3,192
施設運営の方向性	<input checked="" type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらうきっかけとなる貴重な機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、夏休み限定の子ども向け工房を実施し、好評を得た。通年実施の工房については、参加人数等を分析して定期的に見直すほか、周辺施設との連携講座の実施等について検討する。</p> <p>○南千住地域からの来場者が多いため、遠方地域からも来場いただけるような工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、安定的な稼働が必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○遠方地域を対象としたバス見学会や、夏休み限定の巡回バス等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き、安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会「普及啓発の拠点としての活用」					

平成30年度 施設分析シート

施設の概要		施設コード	S07-02-02		
施設名	尾竹橋施設				
所在地	荒川区町屋7丁目16番21号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭61年3月30日	国・都	区債	一般財源
	増改築				
	増改築				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日		職員数	0	0	
構造	鉄骨造り	階層	地上2階		
面積	敷地面積	3,235.85㎡			
	延床面積	553.91㎡			
設置目的・経緯	リサイクル事業用品の保管に使用。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	なし				
駐車場の状況	なし	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	なし	対応状況	点字ブロック	スロープ	



管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から
				-	まで

事業内容	(1) 3 R 普及啓発事業として開催する家具のリサイクルで展示する家具の保管 (2) 町会及び推進団体等に貸与する回収用折りたたみコンテナやペットボトル回収用ネット等の保管 (3) 組成調査及び排出原調査の検査場所
------	--

対象者	区民
-----	----

運営時間等	運営時間	
	休日	

施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
		家具のリサイクル(提供個数)	43	37	43	84
家具のリサイクル(開催回数)	1	1	1	0	0	
電気使用量(kw)	537	526	650	550	628	
水道使用量(㎡)	13	3	2	2	2	
CO2使用量	0	0	0	0	0	
ごみ排出量	0	0	0	0	0	
指定管理に係る費用						

備考	平成29年度から、家具のリサイクルの開催場所を「あらかわりサイクルセンター」に変更した。(年2回)
----	---

財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		547	932	385	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		2,910	2,910	0	その他	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	3,457	3,842	385
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		3,457	3,842	385	通常収支差額(c)+(d)=(e)	3,457	3,842	385
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	3,457	3,842	385	
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	623,108	620,199	2,909	その他の流動負債	0	0	0
	土地	561,895	561,895	0	固定負債	0	0	0
	建物	107,770	107,770	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	46,557	49,466	2,909	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	13,330	13,330	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	13,330	13,330	0	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	623,108	620,199	2,909	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	623,108	620,199	2,909	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	623,108	620,199	2,909	
資産の部合計	623,108	620,199	2,909					

備考	施設の警備等に係る委託料が物件費として計上されている。
----	-----------------------------

	指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)			49.5	51.9	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)			-		
	1㎡当たりコスト(円)			988	6,936	
備考						

施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	無	有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	目標値	実績値					
施設運営の方向性	転用・多目的化 現状維持	民営化 その他()	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	有 (変更内容:)	無					
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	平成12年度に清掃事業の移管に伴い東京都から譲渡された施設。移管後20年間は清掃関連の施設として使用する必要があるため、清掃リサイクル課が備品の保管等で活用している。						
課題に対する現時点での考え	清掃関連施設としての用途指定期間が終了する平成32年度以降の活用について、検討していく。						
議会、利用者等からの意見	平成26年度予算特別委員会 「有効活用の検討」						